

ボランティアニュース

Vol. 198 2020年4月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局
編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦興
〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)
ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com>
e-mail kcmcvolunteer@kanagawa-pho.jp

こども医療センターに咲いた「さくら」

2月初め、患者家族支援部長の田上医師から「敷地内に昨年の台風19号で倒れた桜があるがつぼみをつけている。オレンジクラブ（ボランティア）の方に手伝ってもらいたい。」と電話がありました。敷地の裏側の人目につかないところで桜の木が一部だけ根についたまま倒れていました。

ボランティア活動している園芸の佐伯さんと、フラワーアレンジメントの山本さんに相談しました。山本さんは、「枝を切って花を咲かせるには、咲くというエネルギーが必要で、つぼみが膨らみかけないと花は咲かない。」とアドバイスを下さいました。つぼみの様子を見て、3月15日飾りました。飾る時には、研修医の皆さん方も手伝いに来てくれました。山本さんは、桜が水揚げをよくするために「なた」で皮を削り活けていました。

水をあげていると、通りがかりの御家族が「倒れても咲く力があるんですね。この桜から元気をもらいます。」「いい香りがします。本物なんですね。」こどもさんも写真を撮っていました。

病院内は温かく、一足早く満開になりました。お子さんご家族の方も、そして職員の方にも楽しんでいただいたことでしょう。

(加藤 悦興)



ボランティアに支えられていた頃

ボランティアとして支えたいと思う、今

厚木高校卒業・4月から金沢大学入学

中嶋真優

私は昨年度、夏休みの学生ボランティアに参加させて頂きました。きっかけは私がこの病院の患者であり、10年経った今、今度は自分が患者さんの為に何かをしたいと思ったからです。これまで患者として受動的でしかなかった場所でのボランティア活動。当時はボランティアの方に支えられ、励まされていた自分は、今では笑顔を届ける力があるのだと教えられ、感慨深いものでした。ボランティア活動というものは、決して対価を求めものではありませんし、人の目に触れる活動ばかりではありません。ですが、その活動によって何かを得る人、気づかぬうちに助けられている人がいるのも確かです。私はそれを、今回のボランティア活動でしみじみと感じました。

私が知っている10年の間だけでも、ボランティア活動は幅を広げ、より安全で充実したものとなっているように感じます。それに携われた今、私は、福祉に関わる勉強をしたいと考えています。貴重な体験が出来る場があったことに、感謝しています。ありがとうございます。

ぽぼんたトピック⑩

きくちゃん

コロナウイルスの感染は毎日世界中を恐怖にさせている。

ぽぼんたが活動休止になって約一か月、予定では再開まで10日余りだが待ち遠しい(自粛は継続に)。こんなに長い活動休止は体験したことがない。8月の夏休み中でも2回の活動日を設け本の貸し出しをしてきた。ぽぼんただけではない。院内催し物は無くなり、病院の子ども達は治療のみで辛い毎日だろう。

院内の季節飾りを、雛飾りから五月飾りに変えた。気分転換してもらえたらいいな。これは予定通りの事だが、この作業に係わるボランティアは公共交通機関利用で、遠方の人も多い。加藤コーディネーターはボランティアニュース197号でボランティアをリスクから守る事が大切、と書いている。ボランティアもそれぞれ自覚して季節飾りの作業は無理せず出来る事だけ取り組んだ。



3月の活動状況と今後に向けて

新型コロナウイルス感染対策で、3月の活動は重心施設の作業と外来グループの活動と他には少人数での作業等でした。

3月28日(土)は、季節飾りの日で、鯉のぼりを飾りました。都会では見られることが少ない大きな鯉のぼりが、センターの中で泳いでいます。新年度に入りましたが、病院の中の新型コロナウイルス感染対策は続けられています。今しばらく活動の自粛が続けます。ボランティアの皆さんからは、「スタンバイしている。できるようなったら連絡ください」と、多くの方から連絡いただいております。いましばらくおまちください。



*通院のたびに沢山の折り紙作品を持ってきて下さる岩崎様から、今回も沢山の作品を頂きました。「沢山の子どもたちに行き渡ればいいな」「いろいろな種類がある方が選ぶのに楽しいよね」と話しながら、妹さんはじめご家族皆さんで作られているとのこと。アンパンマンやドキンちゃんの人形、時計やキャラクター付きの腕輪等です。いつも有難うございます。



この状況で、沢山の方からご寄付がありました。全部ではありませんが、ご紹介します。

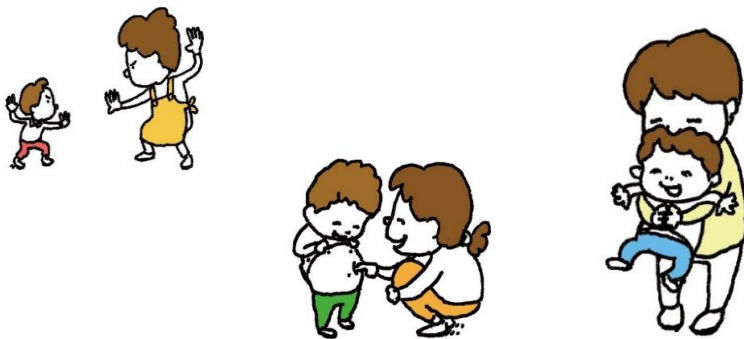
- ・ 沢山の折り紙を送って下さった瀬谷区の鈴木様
- ・ 葉山にある県立近代美術館の学芸員の鈴木様からはこういう時だからと、3種類の教材をたくさん送って頂きました。病棟にお分けしていきます。
- ・ 折り紙作品は、新潟の小林さんの時計や、通常は外来活動の田村さんのコマ200個！（写真）

- ・ クラウンさんから「来れなくてごめんポスター」
- ・ スマイリングホスピタルジャパンの松本さんは、塗り絵を送って下さいました。以前港南区の赤松様から頂いた塗り絵もあり、病室で塗り絵やりたいたか、通院している方でもやってみたい方には塗り絵の台紙を差し上げます。ボランティアコーナー（P165220）にご連絡下さい。（写真）



現在の活動は、外来と重心施設の作業の方、そのほかの一部の活動です。状況の変化で活動が変わりますのでご了承願います。
*新型コロナウイルス感染症対策により次のものが中止となります。

- ・ ボランティア調整会議・ボランティア研修会
- ・ チャリティーバザー
- ・ 4月5月の病棟並びに総合待合でのイベント
- ・ 入院患者さんのごきょうだいのお預かり



今回も「ヨシタケシンスケさんから頂いたイラストをお楽しみください。